

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

30年2月28日

地区名	川中島
事業名	農業生産受託にともなう管理事務統一化
団体名及び 代表者名	(団体名) (代表者名) (連絡先)

■事業概要

専用パソコンとプリンターの導入により、生産品目（桃・ぶどう・米）の情報管理を一元化し、管理事務の統一化を企てる。	【総事業費】 96,120 円 【補助金額】 42,000 円
--	--

【活動写真】

別紙	
----	--

※資料等ある場合は添付する。

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

作物ごと（桃5種類・ぶどう1種類・米2種類）の情報と、田畑ごと（桃70所1ha・ぶどう10所20a・米60所60a）の情報が一元的に管理できた。
--

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施		○		
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)	JA以外の販売先の一部が未入力となっている。			

■今後の取組予定

今後は、販売先・経費の管理対応による効率化を進める。

(別紙)



(PC・7429 - - 16-9 -)

<以下支所で記入>

□事業評価（川中島支所）

[評点は5段階評価：1点～5点（下記参照）]

	評価項目	評点	評価説明
事業効果	目的の達成	3	今回の事業用品の購入により、農業生産受託に伴う管理事務の一元化が概ね達成された。自己評価のとおり販売先全ての一元化が今後の課題と思われる。
	地域等への貢献	5	農業生産を維持することが困難な農業者に対する農業支援を行っており、地域からの期待は大きい。
	事業の継続	4	作目毎及び田畑毎の情報が一元的に管理することができ、農業生産受託の効率化に向けた基礎ができた。
	費用対効果	4	農業支援事業の管理事務の統一は、最小限の物品購入で実施されており、効果は高いと考えられる。
総合評価		4	高齢化が進む中で、農業生産が困難となる農業者は増えるものと思われる。農業生産受託事業は、将来に向けて有益な事業であり、そのための管理事務を一元化は必要である。

□支所長コメント

NPO法人 風とみどりの会は、川中島地区の農業生産が困難となった農業者に対し、農業生産受託事業を行っています。桃、ぶどう及び米の栽培を受託し、約1.8ヘクタールの栽培をしています。今年度実施した専用パソコンによる管理事務の統一化は、情報の一元化と生産管理の効率化につながるものです。

今後、地域における高齢化はますます進み、農業生産が困難となる農業者は増え、農業生産受託事業の需要は高まるものと思われます。地域内での助け合いが一層重要になってきますので、法人の活動がさらに発展していくことを期待します。

川中島支所長

○5段階評価基準

- 5 予定を上回る効果があった
- 4 予定どおりの効果があった
- 3 概ね予定どおりの効果があった
- 2 効果は予定を下回った
- 1 ほとんど目的を達成できなかった